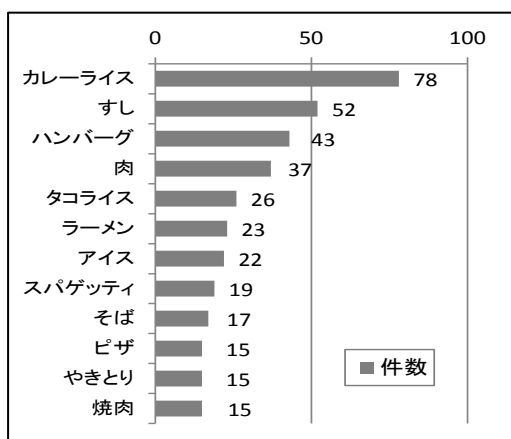


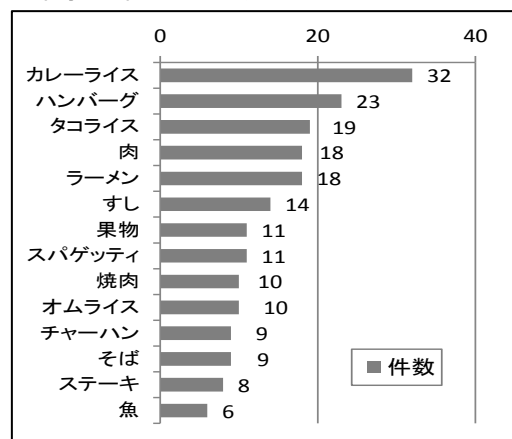
- 好きな食べ物についてみると、小学生では「カレーライス」が最も多く、次いで「すし」「ハンバーグ」と続いています。中学生では小学生と同様に「カレーライス」が最も多く、次いで「ハンバーグ」「タコライス」と続いています。(図 11)
- 一方、嫌いな食べ物についてみると、小中学生ともに「ゴーヤー」が最も多く、次いで「トマト」「なす」と続いており、嫌いな食べ物のほとんどは「野菜」となっています。(図 12)
- 食べ方の関心についてみると、「関心がある」と答えた小学生は約 7 割、中学生は約 6 割となっており、また、家族の人と、栄養や身体に良い食べ物、食べ方などについて話をするかについては、「する」と答えた小学生が約 7 割、中学生で約 6 割みられます。小中学生ともに、食べ物や食べ方の関心は高い傾向がうかがえます。(図 13,14)

図 11 <好きな食べ物> 小学 5 年生(N=230)



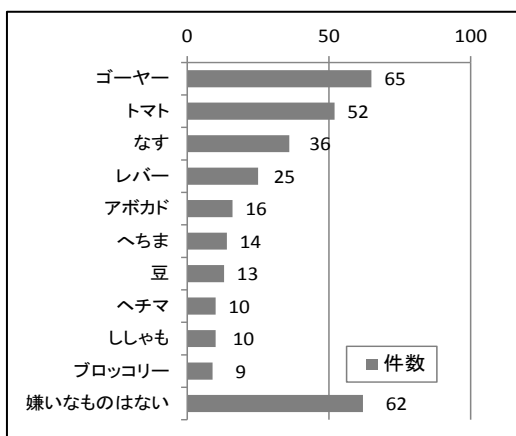
※上位 10 のみ記載

中学 2 年生(N=133)



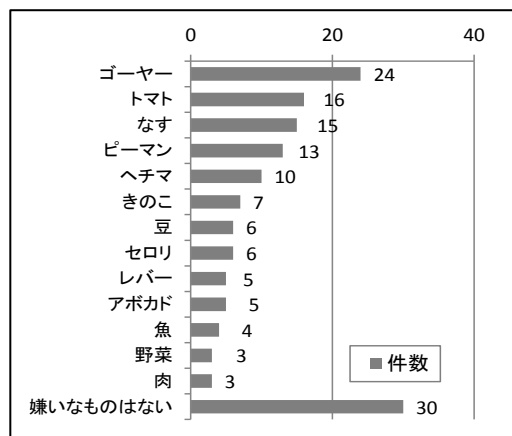
※上位 10 のみ記載

図 12 <嫌いな食べ物> 小学 5 年生(N=233)



※上位 10 のみ記載

中学 2 年生(N=133)



※上位 10 のみ記載

図 13 (問 18) あなたは、噛み方・味わい方といった食べ方に関心がありますか(小学生)

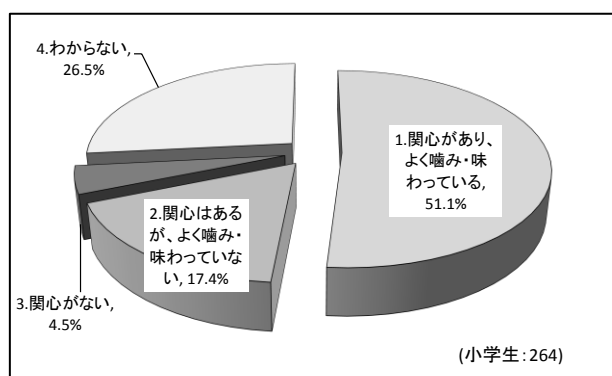
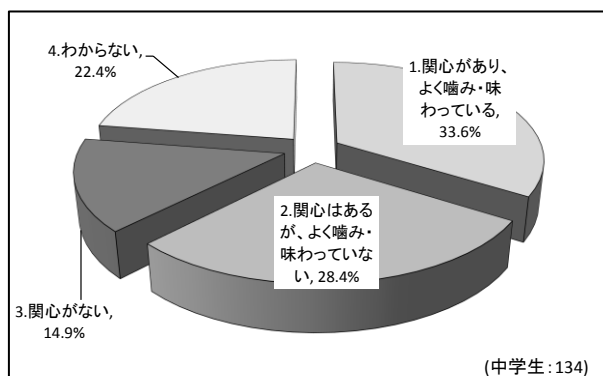


図 14 (問 18) あなたは、噛み方・味わい方といった食べ方に関心がありますか(中学生)



## 2) 食生活・生活習慣について②

- 小中学生自身の食生活については、小中学生ともに「あまりよくない」「よくない」を合わせた「食生活はよくない」は約2割みられます。
- 就寝時間についてみると、中学生は小学生に比べて就寝時間が遅く、特に、中学生は「午前0時より後」が約1割みられ、夜型社会の沖縄の現状がうかがえます。
- 起床時間は、小中学生ともに「午前6時から7時まで」が約7割となっています。
- 自分の体型については、小中学生ともに「今のままでよい」が5割弱と多いものの、小中学生ともに「やせたい」「少しやせたい」を合わせた「やせたい」が小中学生とも4割強と「やせ」願望も多くなっています。(図15,16)なかでも、中学生女子のやせ願望が強い傾向がみられます。(図17)

図15 (問24) あなたは、自分の体型をどう思っていますか。(小学生)

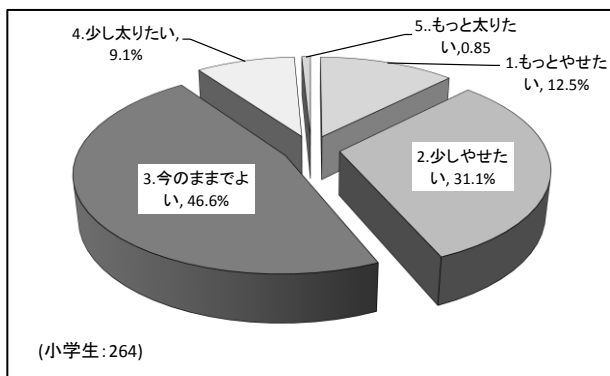


図16 (問24) あなたは、自分の体型をどう思っていますか。(中学生)

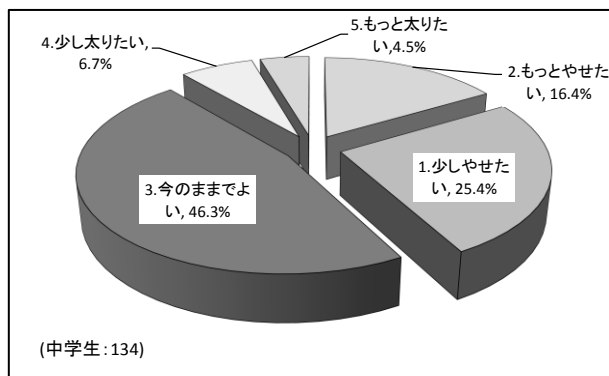


図17

◆体型とローレル指数(問24×問2)

上段:実数 下段:横%

		合計	ローレル指数					
			やせすぎ	やせぎみ	標準	太りぎみ	太りすぎ	
小学5年生	全体	総数 (N=264)	264	10	62	147	26	16
			100.0%	3.8%	23.5%	55.7%	9.8%	6.1%
	男性	総数 (N=135)	135	5	26	71	15	15
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		もってやせたい (N=16)	16	0	0	6	2	8
			11.9%	0.0%	0.0%	8.5%	13.3%	53.3%
		少しやせたい (N=38)	38	1	2	22	8	4
		28.1%	20.0%	7.7%	31.0%	53.3%	26.7%	
	今のままでよい (N=63)	63	2	15	36	5	3	
		46.7%	40.0%	57.7%	50.7%	33.3%	20.0%	
少し太りたい (N=16)	16	2	9	5	0	0		
	11.9%	40.0%	34.6%	7.0%	0.0%	0.0%		
もっと太りたい (N=2)	2	0	0	2	0	0		
	1.5%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%		
女性	総数 (N=128)	128	5	35	76	11	1	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	もってやせたい (N=17)	17	1	13	2	0	0	
		13.3%	20.0%	2.9%	17.1%	18.2%	0.0%	
	少しやせたい (N=44)	44	2	8	26	7	1	
	34.4%	40.0%	22.9%	34.2%	63.6%	100.0%		
今のままでよい (N=60)	60	2	23	33	2	0		
	46.9%	40.0%	65.7%	43.4%	18.2%	0.0%		
少し太りたい (N=7)	7	0	3	4	0	0		
	5.5%	0.0%	8.6%	5.3%	0.0%	0.0%		
中学2年生	全体	総数 (N=134)	134	16	40	63	6	4
		100.0%	11.9%	29.9%	47.0%	4.5%	3.0%	
	男性	総数 (N=63)	63	4	26	28	1	2
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		もってやせたい (N=4)	4	0	2	0	0	1
			6.3%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	50.0%
		少しやせたい (N=5)	5	1	1	2	0	0
		7.9%	25.0%	3.8%	7.1%	0.0%	0.0%	
	今のままでよい (N=43)	43	3	18	20	1	1	
		68.3%	75.0%	69.2%	71.4%	100.0%	50.0%	
少し太りたい (N=6)	6	0	2	4	0	0		
	9.5%	0.0%	7.7%	14.3%	0.0%	0.0%		
もっと太りたい (N=5)	5	0	3	2	0	0		
	7.9%	0.0%	11.5%	7.1%	0.0%	0.0%		
女性	総数 (N=70)	70	12	13	35	5	2	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	もってやせたい (N=18)	18	5	0	8	3	1	
		25.7%	41.7%	0.0%	22.9%	60.0%	50.0%	
	少しやせたい (N=29)	29	2	4	19	2	1	
	41.4%	16.7%	30.8%	54.3%	40.0%	50.0%		
今のままでよい (N=19)	19	4	7	7	0	0		
	27.1%	33.3%	53.8%	20.0%	0.0%	0.0%		
少し太りたい (N=3)	3	1	2	0	0	0		
	4.3%	8.3%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%		

### 3) 食育について

- 食育について学校教育で取り組んでいるものの、小中学生ともに「言葉も意味も知らなかった」が約2割みられることから、一層の周知が必要と考えられます。(図18,19)
- また、食育の関心については、小学生で2割弱、中学生で3割強が「関心がない」と回答しています。

図18 (問25) あなたは、「食育」という言葉とその意味を知っていますか。(小学生)

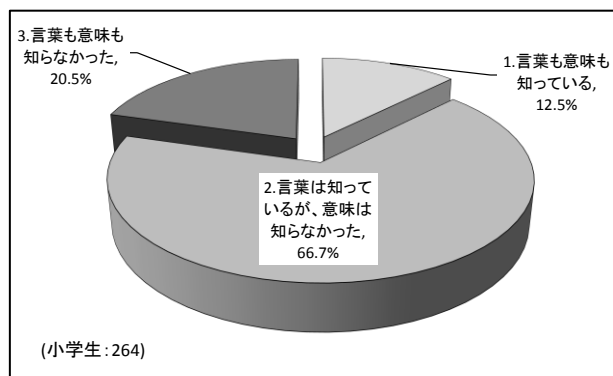
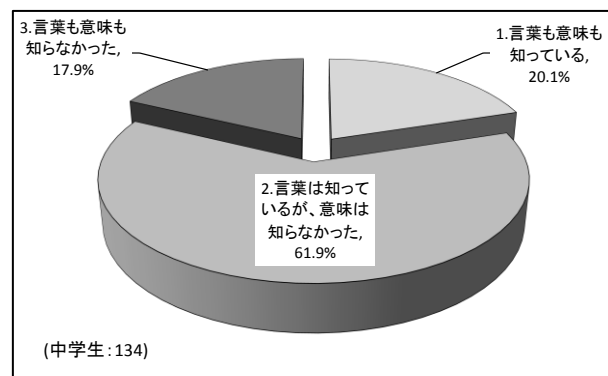


図19 (問25) あなたは、「食育」という言葉とその意味を知っていますか。(中学生)



### 4) 農漁業体験・地産地消・食文化について

- 農漁業体験の参加状況については、「ない」が小学生で約5割、中学生で約7割みられ、中学生は小学生に比べて、「ない」とする回答が多くみられます。また、小中学生は小さな畑作業等も含めた農漁業体験をする機会が少ない状況がうかがえます。

(ちなみに「ある」と回答した小中学生の7割弱は「学校の取り組みに参加」となっています)

- 今後、農漁業体験の参加意向では、「内容によっては参加したいと思う」「ぜひ参加したいと思う」を合わせた「参加したい」は小学生で8割弱、中学生で6割強となっています。
- 宜野湾市の地場産物については、「知らない」が多く、小学生が6割弱、中学生で8割弱を占めています。

(ちなみに、「知っている地場産物」は、「田芋」(小学生35件、中学生33件)が多く、次いで「サトウキビ」、「シークワサー」、「ゴーヤー」等となっています)

- 住んでいる地域(宜野湾市や沖縄県内)で昔から作られてきた料理や地域の特産物を使った健康的な郷土料理については、「知っているが、作ることはできない」が小学生で7割弱、中学生で4割強となっています。また、知っている郷土料理については、「ゴーヤーチャンプルー」や「ジュシー」が多くあげられていました。
- 伝統料理や郷土料理を「今後習いたい」「習ってみたい」+「時間があれば習ってみたい」は、小学生で8割弱、中学生で7割弱となっており、伝統料理や郷土料理を学びたいことがうかがえます。

5) 「食べること」や「食育」についておもったことや希望することなど（自由意見）

- 給食に関することについては、「給食のメニューをもっと増やしてほしい」「バランスの良い給食」「給食の量を減らしてほしい」「食べることが大切とわかりました。給食にはみんなが嫌いな食べ物をだしてほしい」「宜野湾市の料理や農作物を給食にだしてほしい」等の回答がみられた。
- 毎日の生活や食事に関することについては、「好き嫌いをなくしたい」「いろいろな料理について知りたい」「よく噛んで食べることも大切だと思う」「バランスよく食べる」「食生活を直したい」等の回答がみられた。
- 食文化の継承に関することについては、「伝統料理を習ってみたい」「沖縄の食べ物の作り方について調べたい」「沖縄郷土料理を知って、作ってみたい」等の回答がみられた。
- 食育については、「食育について知りたい」「食育について関心はあったが意味はわからなかったので調べたい」「食育の意味を知って良かった」「家族と食べることや食育について考えてみたいと思う」等の回答がみられた。
- 特産品に関することについて、「沖縄県の特産物をもっと知りたい」「宜野湾市の食べ物が知りたい」「宜野湾市で作られている野菜を知りたい」等の回答がみられた。
- 農漁業体験に関することについては、「農業体験をしてみたい」「野菜作りの大変さを知りたい」「農漁業体験が無料でできるところがほしい」等の回答がみられた。
- 家族・会話に関することについては、「家族と一緒に会話しながら、朝食やごはんを食べたい」「家族みんなで仲良く食べる」「朝食や夕食をできるだけ家族と食べたいと思った」等の回答がみられた。

市民

1) 市民（回答者）の健康状況等

- BMIについてみると、「肥満1度以上」が約3割となっています。（図1）
- 健康診断の受診状況については、「どれも受けていない」が約2割となっており、男性で約1割、女性で約2割と女性の健診受診率は低くなっています。（図2）
- その健診結果については、「正常値を超えていた（要経過観察、要再検査、要治療）」が約5割となっており、そのうち「要治療」が1割弱あることから、健診を受けたら重症であったこともうかがえます。（図3）
- また、年代別『正常値を超えていた（要経過観察、要再検査、要治療）』をみると、加齢とともに重症化の傾向がみられることから、若い世代からの肥満予防等の取り組みが求められます。（図3）

図1（問2）BMI

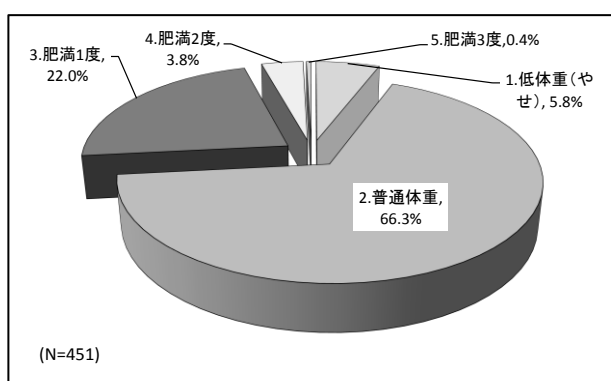


図2（問3）あなたはこの1年間に血液・尿検査等の健診(健康診断)を受けましたか

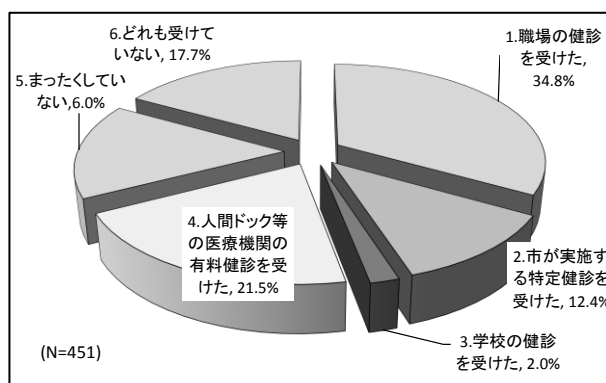


図3

問3-1 その健診結果の主な内容(所見・判定等)はどうでしたか

上段:実数 下段:横%

		合計	結果				無回答
			1. 全て正常値内であった	2. 正常値を超えていた(要経過観察)	3. 正常値を超えていた(要再検査)	4. 正常値を超えていた(要治療)	
全体	総数(N=366)	366	170	94	36	50	16
		100.0%	46.4%	25.7%	9.8%	13.7%	4.4%
年齢	1.18~19歳(N=3)	3	3	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.20~29歳(N=29)	29	25	2	2	0	0
		100.0%	86.2%	6.9%	6.9%	0.0%	0.0%
	3.30~39歳(N=66)	66	41	13	7	3	2
		100.0%	62.1%	19.7%	10.6%	4.5%	3.0%
	4.40~49歳(N=72)	72	29	21	9	11	2
		100.0%	40.3%	29.2%	12.5%	15.3%	2.8%
5.50~59歳(N=67)	67	25	24	9	9	0	
	100.0%	37.3%	35.8%	13.4%	13.4%	0.0%	
6.60~69歳(N=66)	66	22	21	4	13	6	
	100.0%	33.3%	31.8%	6.1%	19.7%	9.1%	
7.70歳以上(N=63)	63	25	13	5	14	6	
	100.0%	39.7%	20.6%	7.9%	22.2%	9.5%	

## 2) 食育について

- ・食育という言葉の認知度については、9割は「言葉は知っている」とするものの、「意味まで知っている」とする方は5割に留まっています。全国の調査結果をみると、「言葉も意味も知っている」は3割程度となっており、宜野湾市は全国と比べて認知度が高い状況がうかがえます。(図4)
- ・また、「食育」に関心がある方は9割を占めていることから、「食育」の認知度・関心度の高さがうかがえます。
- ・食育として重要と思うことについては、「子どもの心身健全な発育のために必要だから」が7割強と最も多く、次いで「食生活の乱れ(栄養バランスに崩れ、不規則な食事等)が問題になっているから」が5割強、「生活習慣病(がん、糖尿病等)の増加が問題となっているから」5割弱と続いています。(図6)
- ・「食育」の実践については、「できるだけするようにしている」が約4割となっています。(図5)
- ・また、具体的に実践している食育の取り組みについては、「バランスの良い食事」「野菜を多くとる」「地産地消・国産」「子どもへの食育」等の回答が多くみられます。
- ・一方で、「あまりしていない」「したいと思っているが、実際にはしていない」が約2割みられ、実践していない理由としては、「食事や食生活、健康への関心はあるが、他のこと(仕事、趣味等)で忙しいから」が約5割となっています。(図7)

図4 (問8)「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。

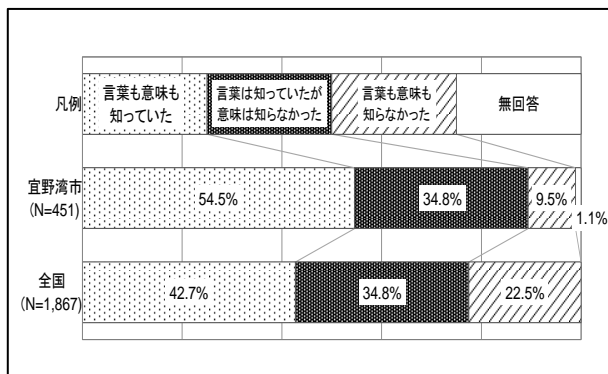


図5 (問11) あなたは、日頃から「食育」を何らかの形で実践していますか。

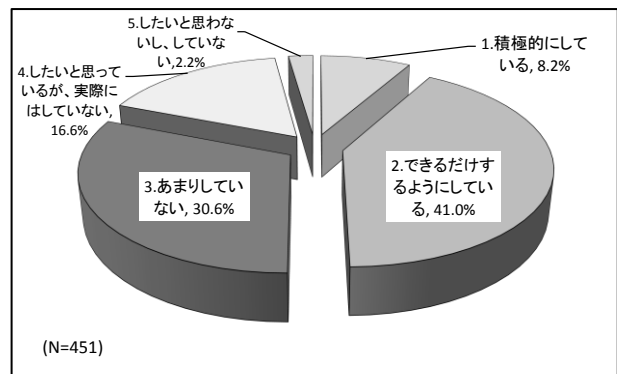


図6 (問10)「食育」として重要と思うことは何ですか

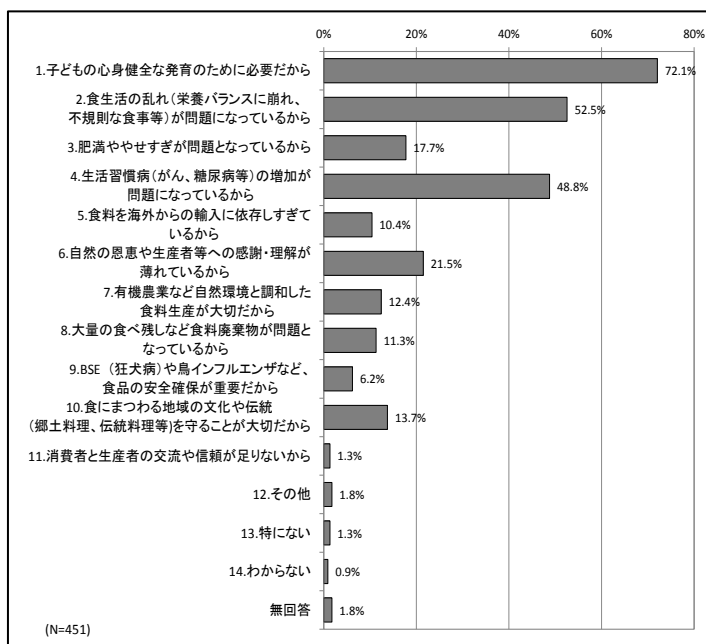


図7 (問11-2) 食育を実践していない理由はなんですか

